

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実	施策の目的	快適な都市環境の整備を進める	施策	下水道
-------	---------	-------	----------------	----	-----

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
生活排水処理施設の整備促進	合併処理浄化槽設置費補助事業	下水道課
生活排水処理施設事業運営の健全化	ストックマネジメント計画に基づいた施設の長寿命化事業	下水道課
雨水対策, 浸水対策事業の推進	公共下水道浸水対策事業(石下地区)	下水道課

目標

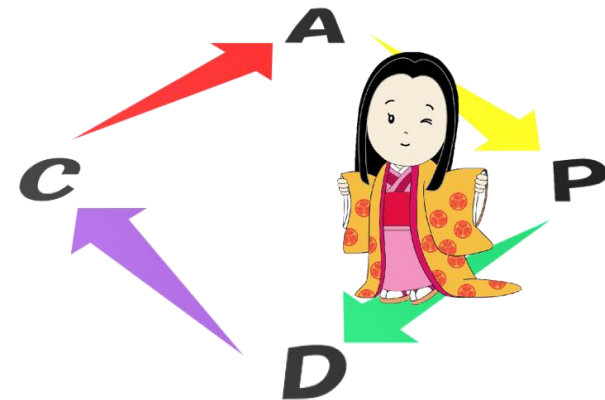
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
生活排水処理(下水道)に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	22.5%	27.5%
下水道普及率	市総人口に対する下水道を利用できる人口の割合	整備促進により普及率の向上を目指す。	26.5%	増加
下水道接続率	下水道が整備された地域のうち, 下水道を利用(接続)している人口の割合	加入促進により接続率の向上を目指す。	62.3%	増加

令和2年度の実施状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

計画的に推進していただきたい。下水道の整備には, 立地適正化計画も連動できるとよいと考える。下水道の整備計画は積極的に発信していただきたい。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	合併処理浄化槽設置費補助事業			
担当	下水道課			
予算科目	一般会計			
	4款	2項	1目	3事業
事業の目的	合併浄化槽の設置者に対し補助金を交付し、合併処理浄化槽設置率を向上させることで、生活排水による公共水域の水質汚濁を防止する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	快適な都市環境の整備を進める
施策	下水道
施策の方向	生活排水処理施設の整備推進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	35,434千円
	うち 特定財源	22,886千円
成果目標		100 基
実施内容と改善点		
合併浄化槽の設置検討者への推進策のひとつとして合併処理浄化槽の設置者に対し補助金を交付することによって、設置工事費の負担軽減を図る。		

令和2年度	決算額	34,619千円
	うち 特定財源	21,120千円
成果実績		76 基
当初の成果目標		100 基
実施内容と改善点		
合併処理浄化槽設置の推進策のひとつとして補助金を交付することによって、合併処理浄化槽設置者の設置工事費の負担軽減を図った。		

令和元年度	決算額	38,066千円
	うち 特定財源	21,882千円
成果実績		104 基
当初の成果目標		100 基

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	単独処理浄化槽からの転換時の補助金額上乗せの申請件数が増加したため、実績件数が減少しており、早期に受付が終了している状況である。
分析	制度が広く認知されてきたことで、希望者全員に交付できない状況である。今後は、補助事業の内容の見直しなども行い、公共水域の水質汚濁防止のため引き続き事業を行っていく。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		基
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
基		基

事業の説明

事業名	ストックマネジメント計画に基づいた施設の長寿命化事業	
担当	下水道課	事業の目的 下水道施設の老朽化の進展状況の予測やリスク評価等による優先順位付けし、施設の点検・調査及び修繕・改築等を計画的に実施することで、施設全体を効率的に管理する。
予算科目	下水道事業会計	

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	快適な都市環境の整備を進める
施策	下水道
施策の方向	生活排水処理施設事業運営の健全化

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	—
	うち 特定財源	—
成果目標		—
実施内容と改善点		
策定したストックマネジメント計画を県及び国へ提出を行う。その後、この計画を基に老朽化した施設・管路の修繕及び改築を実施していく。		

令和2年度	決算額	10,180千円
	うち 特定財源	5,070千円
成果実績		—
当初の成果目標		—
実施内容と改善点		
供用開始から15年以上過ぎている各処理場は、老朽化に伴い機械・電気設備の更新時期を迎えており、施設の老朽化対策が不可欠となっているため、下水道管路施設点検調査・診断業務の結果を基に、ストックマネジメント計画を策定した。(令和元年度からの継続事業)		

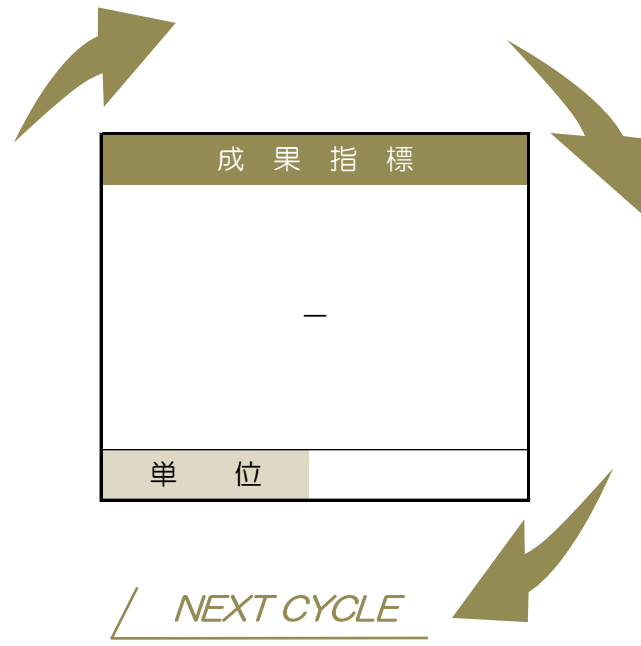
令和元年度	決算額	31,600千円
	うち 特定財源	15,800千円
成果実績		—
当初の成果目標		—

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	下水道施設全体の中長期的な施設状態を予測しながら、点検・調査、修繕・改築を一体的に捉えて計画的・効率的に施設を管理できるよう、施設全体の維持管理・改築の計画の最適化を図った。
分析	限られた予算と増大する改築需要の中で下水道サービスを継続するために、長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の進展状況を予測し、リスク評価等により改築の優先順位付けを行った上で、計画的かつ効率的に施設を管理し、事業費の平準化及びライフサイクルコストの低減を図っていく。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度

事業の説明

事業名	公共下水道浸水対策事業(石下地区)			
担当	下水道課			
予算科目	下水道事業会計			
	1款	1項	3目	1事業
事業の目的	公衆衛生の確保や水質保全, 浸水防除を図り, 市民の快適な生活環境づくりを推進する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	都市基盤の充実
施策の目標	快適な都市環境の整備を進める
施策	下水道
施策の方向	雨水対策, 浸水対策事業の推進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	299,400千円
	うち 特定財源	260,325千円
成果目標		108.0 m
実施内容と改善点		
浸水対策水路整備工事を実施し, 整備目標延長の108mを実施する。		

令和2年度	決算額	196,882千円
	うち 特定財源	194,205千円
成果実績		112.0 m
当初の成果目標		112.0 m
実施内容と改善点		
浸水対策水路整備工事を実施し, 整備目標延長の112mを達成した。		

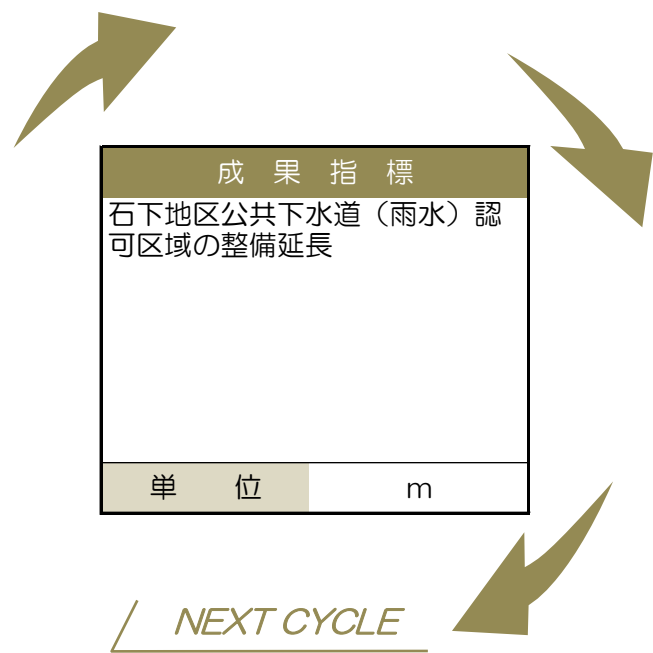
令和元年度	決算額	-
	うち 特定財源	-
成果実績		- m
当初の成果目標		- m

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	目標としていた整備延長を達成した。
分析	令和2年度の成果目標達成は, 全体整備計画に基づく単年度毎の整備目標値設定が妥当であったと考えられる。今後は, 既に整備が完了している新石下排水区同様, 国庫交付金を活用しながら本石下排水区の早期整備を目指す。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		m
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
m		m

NEXT CYCLE